

# 浄泉寺報

第32号  
2023年  
春彼岸



お釈迦さまの誕生の姿を安置する花御堂

## 彼岸会に想う

浄泉寺住職 望月廣三

「困った時の神頼み」という慣用句がやたら有名なのは、それは私たちの心を見事に言い当てているからでしょう。順調に暮らしているからでしょうか、人は大抵、

仏を必要としません。悩みに出てきたときに、「救い」が問題になり、苦しみが始まります。ということとは、「悩み」と「救い」は表裏一体の関係にあるといっても過言ではないでしょう。

つまり私たちには「悩む」ことが必要なのです。なぜなら、悩まなければ救われるという道理が出てこないからです。悩みが出てきてやっと、苦しみや悲しみが湧き出てきて、愚痴や悲嘆に暮れ、「自分」を取りもどすことができます。それは実に苦しいことですが、それが本当に「人間」として素晴らしい縁にちがいません。ということとは、「試練」に耐えてこそ、人は一人前になるということでしょう。

「試練」には「あなたの信仰はどうなっているか」と問われている意味があります。真に「苦」に

耐えられることこそが、またその「苦」が再生のご縁になることが「信仰の力」だと教えられているのです。



## 浄泉寺からのお知らせ

### ● 同朋会 (月例法座) ●

浄泉寺では、毎月お勤めと住職の法話を中心にした同朋会を開催しています。どなたでもお気軽にご参加いただけますので、ぜひお越しください。日程等の問合せは浄泉寺まで。

## 若坊守のひとりごと

娘はしらすが大好きです。沢山のしらすの中にいる、タやカニの赤ちゃんを見つけるのが楽しいようです。ある日、いつものように何か他の生き物が混じっていないか探しながらしらすを食

べる娘に「それ一つ一つがいのちって知ってた？」と聞くと、一瞬ぴたりと手を止めてしまいました。いつも「いただきます」というのは、いのちをいただくことだよ」という話はしていても、目の前の小さな魚ひとつひとつがいのちだということは意識していなかったようです。

しらす一つとあなたのいのちは同じだよと言うと、娘は領き食べていきます。かわいそうだから食べない、というのでは生きていきません。私達は絶対に他のいのちをいただかすには生きられない存在です。そのことに一瞬頭が下がっても、毎日暮らしているうちにまた忘れてしまいます。私もそうです。しかし改めて小さなしらすを一つずつ見ていると、その大切なことをつい忘れて「善い自分」になっていたことに気づかされるのです。

(浄泉寺若坊守・釋尼彌名)

お内仏(仏壇)に座る ③〇 ～ 宗祖親鸞聖人御誕生 850 年立教開宗 800 年慶讃法要 ～



〈慶讃テーマ〉

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

いよいよこの3月25日から4月29日までの間、京都の本山・東本願寺において「宗祖親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要」が勤まります。今年には1173年にお生まれになった親鸞聖人の生誕850年の節目の年ということになります。慶讃とは、文字通り仏さまの徳を慶び讃えるという意味がありますが、これは決して他人事としての「おめでとう」ということではありません。仏さまの教えというのは、自分自身に届いてこそ、はたらき響いてくるものです。仏教とは、美術館のショーケースで眺める美しいものでも、教科書で学ぶ転ばぬ先の杖でもなく、老い・病み・死ぬといった人間の現実問題のただ中にあるこの私の身の事実と共にある、いわば私の生活そのものといってもいいでしょう。人生、次の一呼吸に何が起こるかわかりません。そして、人間の価値観でいえば良いことも悪いことも、一切の出来事が、実は仏さまのはたらきに気づかされる機縁となります。つまり、私たちがどんなに逃れようとしても、それを追いかけて離さない、そのようなある意味お節介な役回りを果たすのが、仏さまのはたらきというものです。「慶讃」とは、こうして、やむにやまれぬ日々の生活を送る私一人が、仏さまのはたらきに捕まって「これが私でありました」と、ありのままの私自身に出遇えた自己解放の慶びのことを指すのでしょうか。

「生まれた意義と生きる喜びを見つけよう」とは、50年前の御誕生800年立教開宗750年の慶讃法要のテーマでした。今回のテーマは「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねて

いこう」です。このたびの法要を機縁にして、ぜひ、人と生まれたことの意味を確かめる時と場をもっていただけたらと思います。

(浄泉寺若院・釋亜世)

令和5年(2023年)年忌表

ご法事(年忌法要)は、亡き人をご縁に、仏さまの教えを、今生きる私たちが聞かせていただく大切な機会です。浄泉寺本堂でご法事を勤めることもできます。

一周忌	令和4年(2022年)亡
三回忌	令和3年(2021年)亡
七回忌	平成29年(2017年)亡
十三回忌	平成23年(2011年)亡
十七回忌	平成19年(2007年)亡
二十五回忌	平成11年(1999年)亡
三十三回忌	平成3年(1991年)亡
五十回忌	昭和49年(1974年)亡

慶讃法要にぜひお参りください!

【第1期法要】2023年3月25日(土)~4月8日(土)

【第2期法要】2023年4月15日(土)~4月29日(土)

※3/26(日)、4/2(日)、4/16(日)、4/23(日)、4/24(月)には、若院も企画に携わる「井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー」も実施!

詳しくは、右QRコードからホームページをご覧ください。



<発行元・問い合わせ>



真宗大谷派 楠林山 浄泉寺 電話 0799-22-4798

〒656-0026 洲本市栄町4-3-43

ホームページ <http://jyosenji.asei.info>